

令和5年度 公募型卒業研究テーマ成果発表会

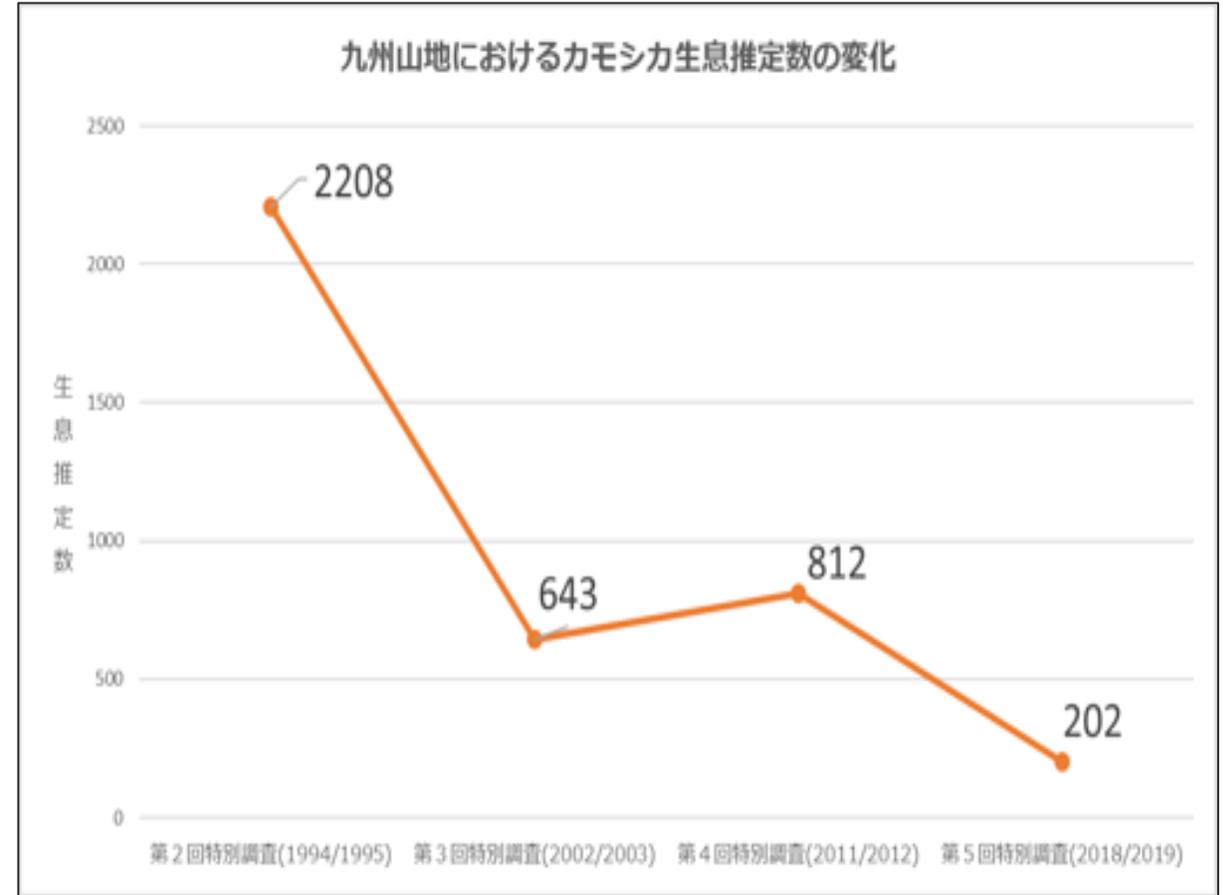
綾 B R における

幼児を対象にした E S D の実践

～地域の自然を生かした保育活動を通して～

南九州大学人間発達学部子ども教育学科 4年 遠藤ゼミ所属

小川 七海



主体的に考え、新しい価値を創出するために
多面的な視点から判断・行動できる人材の育成が急務
玉田(2022)

= 持続可能な開発のための教育 (ESD)

研究背景 本研究の立ち位置

綾町のニホンカモシカ



綾町保育所 保育者17名
「ESDを知っているか」
「全く知らない」
「ほとんど知らない」
…88.0%

綾ユネスコエコパーク

自然と人間社会の共生

ESDの推進拠点

- ・ 環境保全
- ・ 経済活動の持続可能な発展
- ・ 持続可能な社会の創り手の育成

本研究

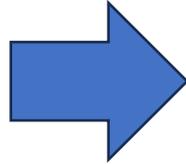
ニホンカモシカを題材とした
幼児向けESDの実践

保育・幼児教育

幼児期の終わりまでに
育ててほしい姿

- ESD的な活動
 - ESDで重視する能力・態度が育まれる
- (照屋2021)

研究背景 ESDの実践



ESDで大切なこと (手島、2018)
学びに火をつける = **好奇心**をもって取り組み、
学びが深まる



幼児教育で
「好奇心・探究心」を育む

〈絵本〉

自然との関わりを再認識し、自然に対する知的好奇心を高める(高橋、2021)
子ども達に親しみやすく、興味や関心を持ちやすい (新井、2020)

【ESDの重視する能力・態度】

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的・総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度

プログラムを通して目指す姿

今回は導入部分

→ 好奇心・探究力の芽生え
を支える

【幼児の目指す姿】

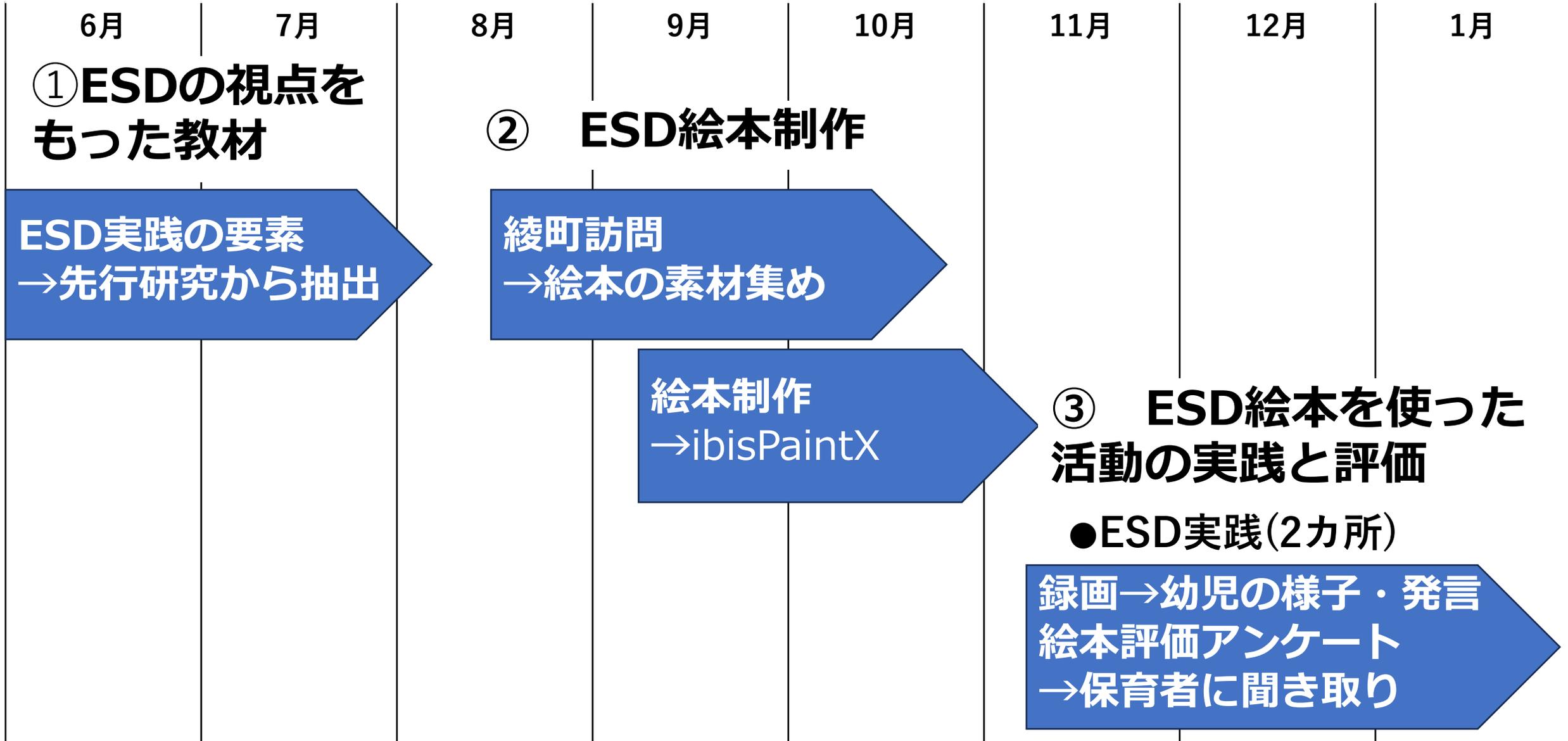
- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ⑥ つながりを尊重する態度

研究目的

ニホンカモシカを題材とした幼児向けESD絵本を制作・実践

- ① 好奇心や探究心に及ぼす影響を明らかにする**
- ② 興味・関心の持続性に大切なことについて
考察する**

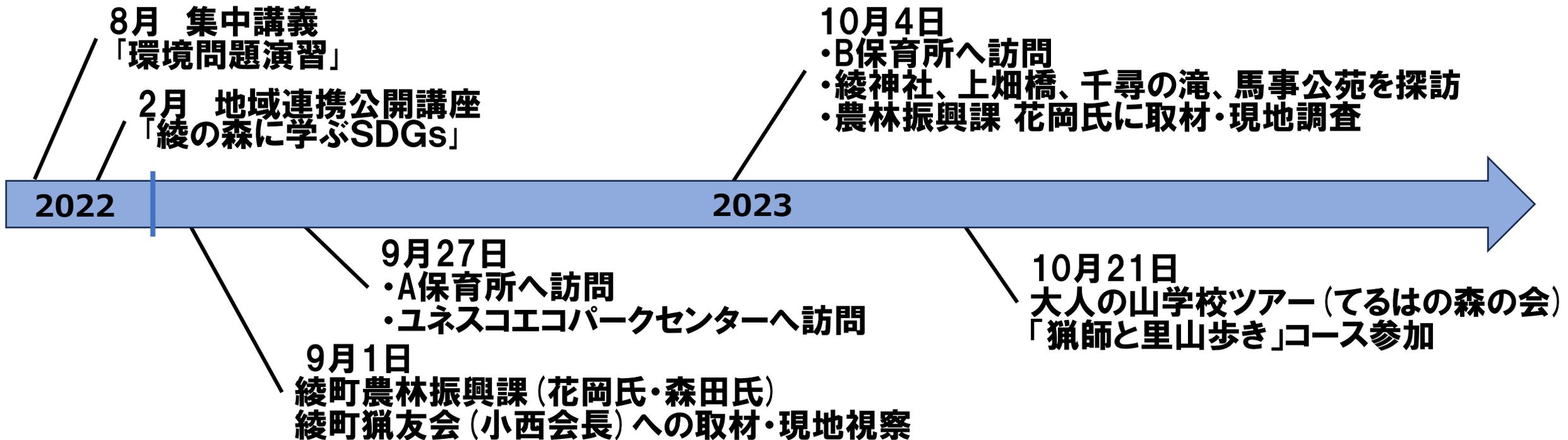
研究方法



結果①②

結果① ESDの視点をもった教材 (先行研究より抽出)	結果② ESD絵本制作	ESD 重視する 能力態度
ESDをする際に意識すること (後藤、2021)	絵本のコンセプト	
連続性をもたせる	幼児の興味・関心を引き出し、想像力を掻き立てる仕掛けがある	①②
期待感や好奇心を刺激する	隠れている動物を探す	①②
子ども達の主体的な活動	問いかけなどの最低限の文章で構成する	①②
地域の教育資源を活用	町を探検するストーリーとし、地域とのつながりを感じる要素がある	⑥

結果② ESD絵本製作



結果② ESD絵本製作

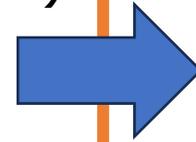


結果② ESD絵本製作



結果② ESD絵本製作

- ・ ニホンカモシカ
- ・ ニホンカモシカに関わる動物(イノシシ・サル・シカなど)
- ・ 地域の人(農家・猟友会・役場・専門家など)
- ・ 道具(電気柵・罾・防鹿ネットなど)



なんで?
気になる!



絵本で見た物事が住んでいる町にもあることに気づき興味・関心の持続へ



【絵本のストーリー】

「会うと幸せになれるという

噂のニホンカモシカに会いたい！」

主人公と聞き手が一緒に協力して、綾町を探検しながらニホンカモシカを見つけに行く物語。

結果② ESD絵本製作



はしをわたって さらにもりのおくまですすむと カモシカたんけんたいはあるものを見つけました。

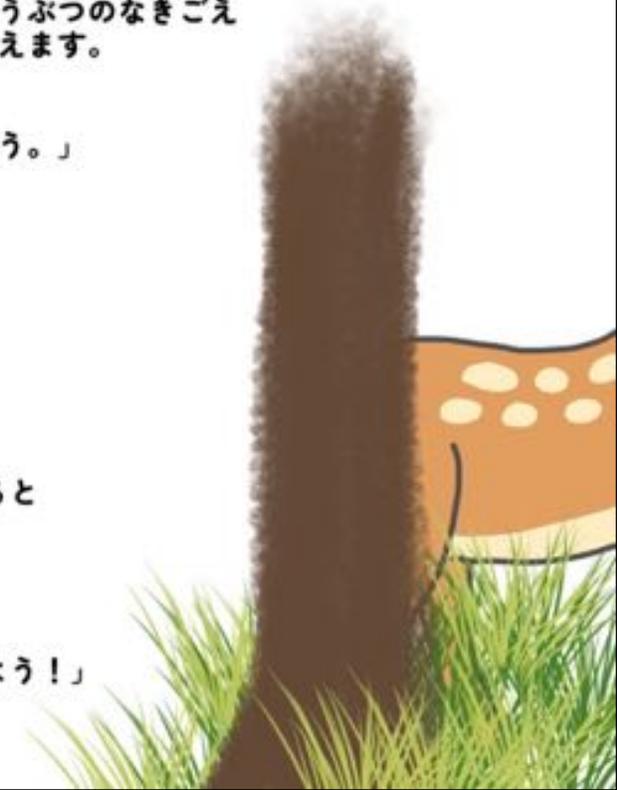
「おおきなきだね。 おもいきりうえをみないと ぜんぶみえないよ。」

みみをすますと きがゆれているおとやどうぶつのなきごえかぜのおとなど いろいろなおとが きこえます。

「ねえねえ おれんじいろのネット
なんでここにあるんだろう。」

ふと りんちゃんが とおくのほうをみると
なにかが よこぎりました。

りんちゃんはいいました。
「もしかして カモシカかも。おいかけよう！」



結果② ESD絵本製作

【幼児の目指す姿】

① 批判的に考える力



- ・考える・疑問に思う
- ・話し合う
- ・カモシカへの興味を高める

② 未来像を予測して計画を立てる力



- ・自身の経験を基にイメージを膨らませます

⑥ つながりを尊重する態度



- ・自然や生物に親しみをもつ
- ・地域や自然とのつながりを持ち行動する

結果③ 絵本を使ったESDプログラムの実践と評価（ビデオカメラの分析）

実施日	実施場所	対象児
2023年11月6日(月)	綾町立A保育所	5歳児（11名）
2023年11月13日(月)	綾町立B保育所	全年齢児（16名）

【2つの保育所で共通していた幼児の姿】	要因・予測
二ホンカモシカを知らない幼児が多い	絵本を通して二ホンカモシカ知ること、好奇心が高まったかどうか分かる
動物を探して見つけることを楽しんでいる	隠れている仕掛けが興味・関心を引いている
罨や防鹿ネットなどの道具に気づかない	動物が隠れているページと見開きになっているため、目線が罨や防鹿ネットにいかない
後半の問い掛けに首を傾げるが、発言する姿もある	問いかけの質が難しく、幼児の思考力が十分に育まれていないため、難しい
最後まで参加する	内容的には難しくはない

結果③ 絵本を使ったESDプログラムの実践と評価（評価アンケート）

絵本の対象年齢について

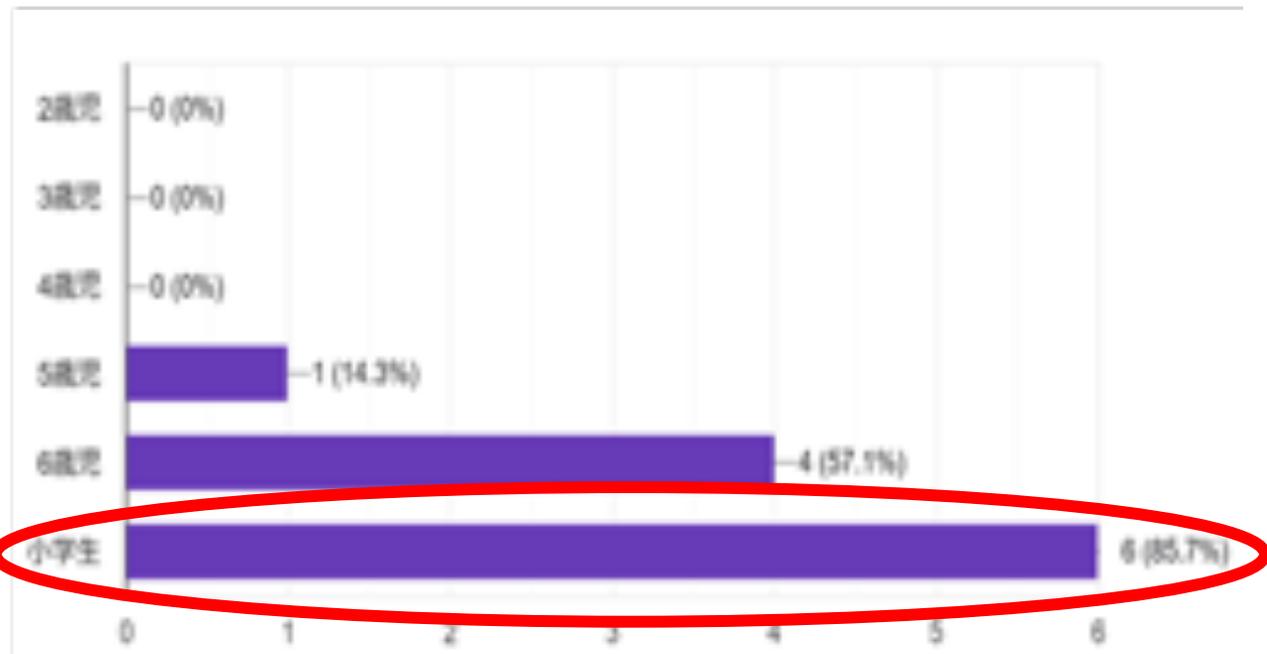
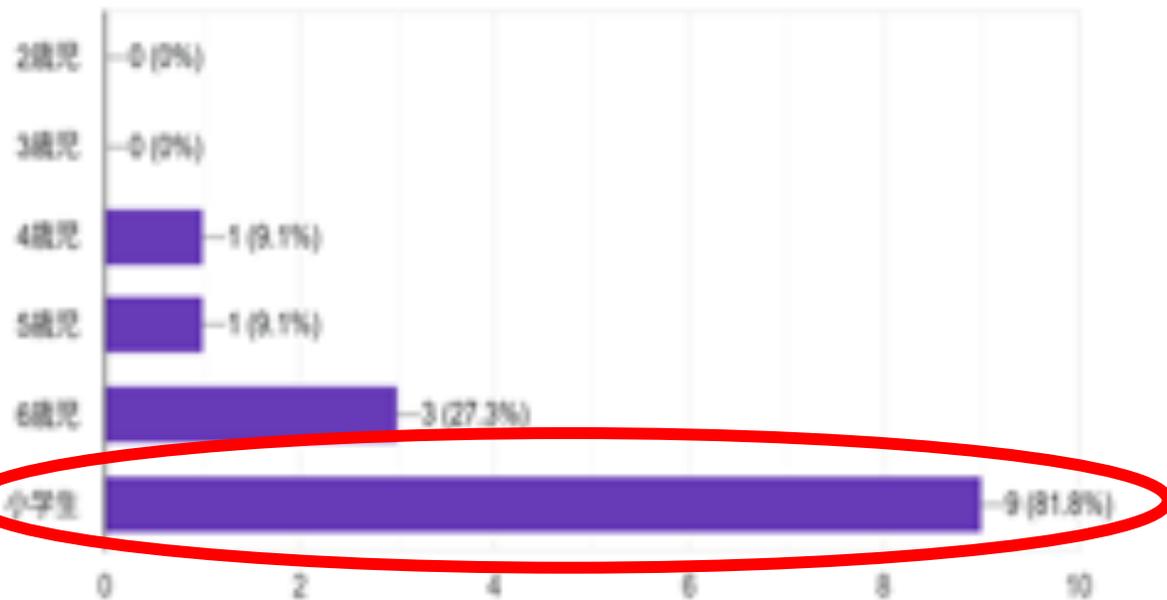


図 絵本の対象年齢（左：A保育所 右：B保育所）

<理由>

「情報量が多く、理解が難しい」

「幼児には難しい」「小学生だと思考・発想しやすいと思う」

小学生が多い

結果③ 絵本を使ったESDプログラムの実践と評価（評価アンケート）

実践後の興味・関心の持続性→カモシカへの興味・関心が持続した

A保育所の事例
絵本de対話の後
エコパークセンターを訪問

↓
幼児がカモシカについて
職員に尋ねる

興味関心の持続性が検出

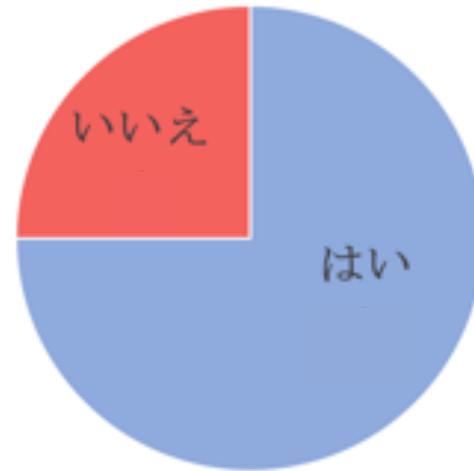


図 子どもの遊びが発展している様子や興味深い出来事などはあったか
(左：A保育所 右：B保育所)

カリキュラムとして構築する
→ESDの教育・保育効果を明確にできる

考察 興味・関心の持続性に大切なこと

- アンケート …… 文字や情報が多い・絵本が長い
- ビデオカメラ …… 問いかけに発言する姿/最後まで参加している姿

内容的に難しいものではなかった

【情報量の増加の原因】

理解を深める = 説明文を増やす



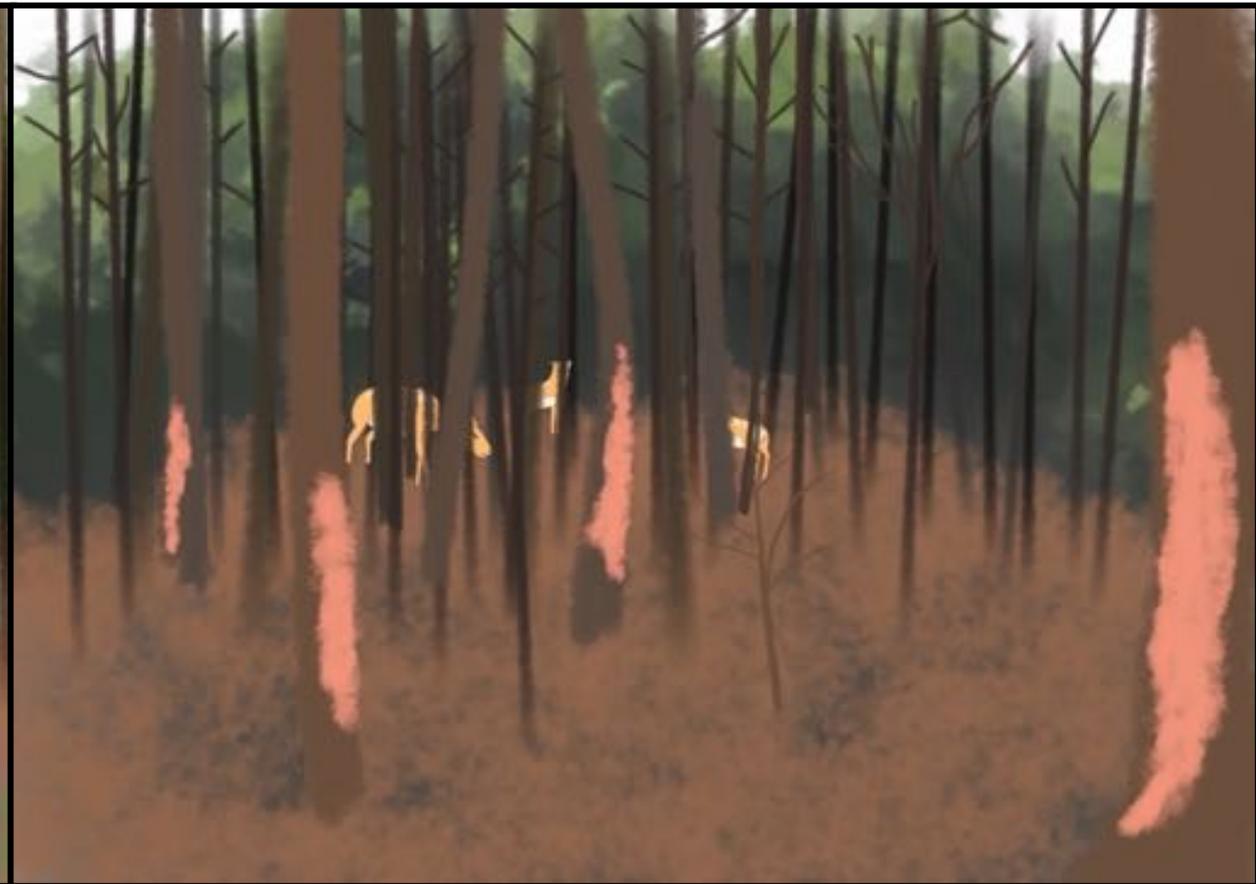
理解を阻害・難しくなった

**教えようとするほど
内容が伝わらなくなる**

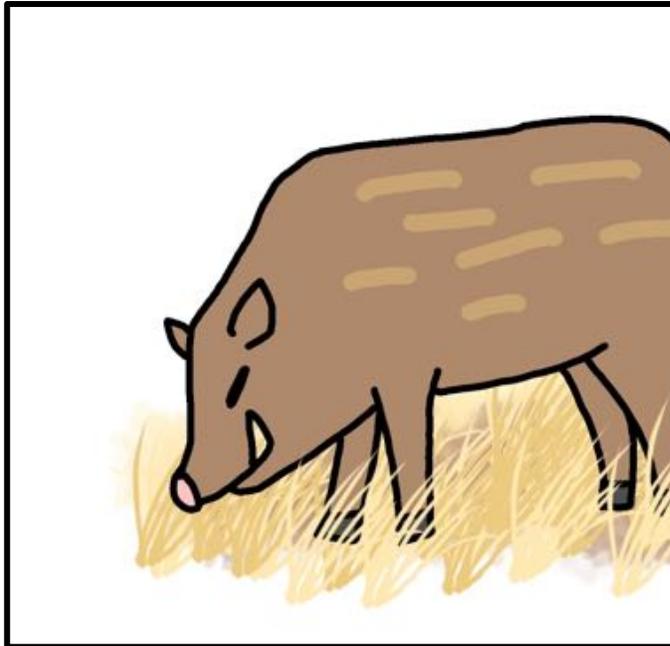
修正版では…

- 簡単な文章
- 考える見つける要素を追加

考察 修正版絵本

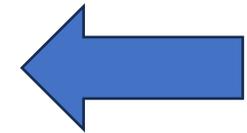


考察 修正版絵本

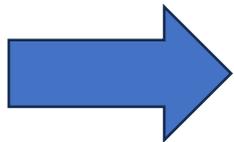


イノシシだ！
みつけたら おいけてくるかも。
そーっと そーっと はなれよう。

動物に出会った
ときの対処方法



興味・関心を引く
工夫



このどうぶつは？



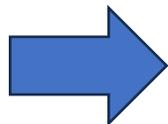
これは？



あ！カモシカかも！
あそこまで いってみよう！

まとめと課題

カモシカが題材の
幼児向けESD絵本を
制作・実践・評価



【興味・関心の持続性に大切なこと】

- ① 教え込まず、幼児自ら気づき考える仕掛け
- ② カリキュラムとして構成する

【課題】

- **修正版絵本を使った幼児への読みかたり**
 - ・ 綾小学校で実施
→主体的に絵本から疑問や気づきを得ていた/興味・関心が高まる
- **連続性のある活動を展開し、活動全体の質を高める**
 - ・ 関わり方の検討

ご清聴ありがとうございました。



参考文献

- ・ 文化庁文化財第二課. 2022. カモシカ保護管理マニュアル(改訂版). p 1
- ・ 大分県教育委員会・熊本県教育委員会・宮崎県教育委員会(編). 2020. 平成30年・令和元年度九州山地カモシカ特別調査報告書. p 97. 133
- ・ 玉田和恵. 2022. Society5.0時代に対応した情報モラル問題解決力の育成～人工知能と個人情報の活用を思考するゲーミング教材の開発～. 江戸川大学. 第19巻. 33-40
- ・ 日本ユネスコ国内委員会. 2021. 持続可能な開発のための教育(E S D)推進の手引き. p 1
- ・ 遠藤晃・谷村佳則・酒井喜八郎. 2017. いろんなところでE S D—学校教育のなかのE S D. 南九州大学人間発達研究. 第7巻. 89-108
- ・ 国立教育政策研究所. 2012. 学校における持続可能な発展のための教育(E S D)に関する研究〔最終報告書〕. p 4
- ・ 広島大学附属幼稚園. 2016. 持続可能な社会の担い手となるために, その基盤となる態度や資質・能力を明らかにし, 「自然とのつながり」と「人とのつながり」の直接体験を通してそれらを育成する幼児期の教育課程の研究開発. 令和元年度研究開発実施報告書(要約). p 2
- ・ 朴恩恵・萩原元昭・西井麻美・樟本千里. 2017. 乳幼児からの持続可能な開発のための教育(E S D)—世界の動向と日本の取り組み—. 第17回国際交流委員会企画シンポジウム報告. 第55巻. 3-58-66
- ・ 冨田久枝・上垣内伸子・片山知子・吉川はる奈・田爪宏二・名須川知子・鈴木裕子・藤原照美・西脇二葉. (2014). 地域で育つ・地域を創る「乳幼児教育におけるE S D」—日本の保育における継承と創造を目指して—. 千葉大学教育学部研究紀要. 第62巻. 155-162
- ・ 冨田久枝・上垣内伸子・片山知子・吉川はる奈・田爪宏二・名須川知子・西脇二葉. 2018. 持続可能な社会をつくる日本の保育乳幼児期におけるE S D. かもがわ出版. p 18-19
- ・ 文部科学省. 2018. 幼稚園教育要領解説. フレーベル館. p 19
- ・ 井上美智子. 2009. 幼児期の環境教育研究をめぐる背景と課題. 環境教育. 第19巻. 1-95-108
- ・ 日本ユネスコ国内委員会. 2018. 持続可能な開発のための教育(E S D)推進の手引き. p 6
- ・ 高橋多美子. 2022. 幼児期におけるE S Dの視点から捉えた自然に関する環境教育の展望. 和歌山大学教育学部紀要. 第72巻. 9-16
- ・ 新井悦子. 2021. 専攻科「児童文化研究」における幼児向け絵本のブックトークの実践研究. 長崎短期大学研究紀要. 33-79-88
- ・ 後藤由美. 2021. 保育内容指導法「環境」におけるE S D・S D G s活動の展開. 名古屋柳城短期大学研究紀要. 43-87-95
- ・ 坂上節子. 2016. 異年齢交流の遊び場での分析—選択活動における子どもの姿—. 大和大学研究紀要. 第2巻. 139-149
- ・ 田中治彦. 湯本浩之. 小貫仁. 山西優二. 石川一喜. 小玉敏也. 鈴木隆弘. 松田明子. 辻本昭彦. 佐久木達也. 山中信幸. 肥下彰男. 米井慎一. 加藤英嗣. 2010. 開発教育で実践するE S Dカリキュラム地域を掘り下げ、世界とつながる学びのデザイン. 学文社. p79